

報道関係各位

【武蔵野美術大学】大日本印刷との産学連携で 証明写真機「Ki-Re-i」を活用した新ビジネスの共創開始 ～Z世代の新たな発想で、生活者へ新たな価値を提供～

武蔵野美術大学（所在地：東京都小平市/学長：長澤忠徳、以下：本学）は、大日本印刷株式会社（本社所在地：東京都新宿区/代表取締役社長：北島義斉、以下：DNP）と連携し、DNPグループ会社の株式会社DNPフォトイメージングジャパン（本社所在地：東京都中野区/代表取締役社長：林雅史）が国内で約7,400台運用する証明写真機「Ki-Re-i」（以下：「Ki-Re-i」）を活用した新規事業創出の産学共同プロジェクトを開始しました。

2022年5月から参加学生に向けたオリエンテーションを行っており、同年夏に最終報告会を実施のうえ事業化への検討を進めていきます。



概要

- この取り組みは、企業と研究・教育機関の共創により、新たなビジネスを創出することを目的としています。「Ki-Re-i」の新たな利用法を開発して、新サービスや新しい撮影体験など、これまでにない価値や体験の提供を目指します。
- 日本では近年、人口の減少に加え、スマートフォンのカメラ機能の向上などによって気軽に顔写真を撮影できることなどから、証明写真機の需要が徐々に減少しています。こうした状況に対してDNPは、全国に設置している「Ki-Re-i」の用途を拡大して、マイナンバーカードのオンライン申請や、各地の「Ki-Re-i」で撮影した顔写真を社員証用にネットワークで収集するといった多様なサービスを提供しています。

■1990 年後半から 2000 年代に生まれた「Z 世代」や美術系大学等の学生ならではの発想と「Ki-Re-i」の IoT 機能や半個室空間といった特徴との掛け合わせによって、「次世代のデジタルデバイスブーム」として「Ki-Re-i」の新たな活用方法を創出していきます。



* DNP プレスリリース：https://www.dnp.co.jp/news/detail/10162636_1587.html

< 本件に関するお問い合わせ先 >

武蔵野美術大学 研究支援チーム

042-342-7945 / social@musabi.ac.jp / 担当：中嶋・河野